(1)

本日正午の潮汐 六十九度

天氣豫報 最早晴時 微風

Tairiku Nippo
THE CONTINENTAL DAILY NEWS

大正二年七月三十日 第二千八百五十二號 (日�日)

Vol. 7 No. 1852 Wednesday July 30 1913

大陸日報

THE Continental Daily News
PUBLISHED DAILY EXCEPT SUNDAY
124Core Ave. Vancouver, B.C.
PHONES SEY. 3065 - 3024
PUBLISHED BY Yasushi Yamazaki

本紙定價表
一ケ月 壹拾五仙
三ケ月 壹弗五仙
六ケ月 貳弗
一ケ年 參弗五拾仙
郵券代用一割增但し一切前金の事

發行兼編輯人 山崎寧

一、時計類御入用の方は安心して求められる米滿時計店へ來れ

▲本日電報▲ 合衆國電報

◎墨國大使動靜 駐墨大使ウイルソン氏は本日上院の外交委員と會商して對墨意見を開陳せり國務卿は出席せざりき

◎墨氏と墨西哥 (アッス テン) クヤサス州知事ロバキット氏は昨日ルーズヴエルト氏がラッフ、ライダー式の義勇騎兵四個聯隊を急かに組織しつゝありとの報に接したり之等義勇兵はアリゾナ、ニユー、メキシコ及び西部テキサスの熟練なる騎手より成立つべきものなりとあり

電報

◎先帝御一年祭 明治中興の英主に在します陛下神去り給ふてより、はや崩御の一年を過ぎぬ、今日謹に明治天皇御一年祭に際して愛慈更に新たなるものあり、伏見桃山御陵及び宮中櫻殿に於ける祭式は早天同時に行はせられ伏見桃山には天皇陛下御名代伏見宮殿下、皇后陛下御名代閑院宮妃殿下、皇太后陛下御名代東伏見宮妃殿下御參向あらせられて、莊嚴なる御祭典あり、宮中に於ては本式典後御靈位は宮中賢所、皇靈殿神殿に御移しあり、東京市は青山練場殿跡ふ遙拜式場を建設し殿浦なる遙拜式を擧行し其他各都市に於ても夫々遙拜式を擧行せるはすにて東京市の遙拜場は八月一日早朝より日暮に至るまで一般市民の遙拜を許すべし尚ほ拜閲する處に依れば其後ふ於て三陛下順次桃山御陵に行啓あらせられ御所在ふ於て親しく御參拜を行はせらゝなるべし、在留一般臣民は欧鄕菅山の如きは絶對に慎み一に靜肅の裡に御一年祭を遙拜すべく領事館は明日休務す

◎日米問題交渉 加州土地問題に關して米國に對する日本よりの外交々渉は今亦其準備中にあり此は最近合衆國よりの交渉に對しての回答にして華府當局は最近の交渉を最後のものと信じ少くとも加州土地法が實施期に入りテスト、ケースの起さるゝまでは最後のものなりと考へ居たる次第なり國務卿ブライアン氏は昨日聲明して日本より交渉はあるべきも内容の如何は知らずと告げ居たりとなり

◎支那紛爭と英國紙 昨日倫敦のデイリー、クレグラフ紙北京通信は支那南方軍が曾ての膠擁寧ろ利益を爲して敗北を恢復し又多數武器の供給を受けつゝあり長期に渉りての活氣なき交戰は多分中實となるべく而して百名の日本士官は廣東軍に結合すべきが廣東軍は四万の精鋭より成れり云海の火災を報じ居たり因みゐ上海來報によれば同地は今や食糧の欠乏に惱むこと甚だしく而して外國領事團は昨日北方軍司令官に交渉して上海に對しての發砲に抗議を唱へたりと聞ふ

◎加奈陀内相出發期 加奈陀内務大臣ローチ博士は八月十五日ふヲタワを出發して西部旅行の途に就くことに確定したるが氏は西部の濱漑問題研究に最も力を盡すべき由にして西部各都市より來訪希望の招待狀多數に接し居れりとなり

◎添田博士來晩せん 目下滯乘中なる添田博士及び神谷忠雄氏が都合に依り再び歸朝を延期したる由は既報の如くなるが同博士一行は來月七八日頃迄同地に滯在したる後晩香坡に直行當地方の狀態を視察の後十三日當港發の加奈陀太平洋の新造船エンプレスオブ、ロシア號にて歸朝の事ゐ略々決定せる由今朝接手せる桑港特報にありたり

本社特電

東京特電 (桑港新世界社經由、木日午後三時本社着)

◎先帝御一年祭 明治天皇御一年祭は宮中に於かせられては櫻殿にて御式典あり天皇、皇后兩陛下、皇太子殿下、皇太后陛下御參拜あり伏見桃山にては伏見宮、閑院宮妃、東伏見宮各殿下御名代として御參拜あり東京青山練兵場跡の遙拜殿には市民五万以上の參拜あり何等の事故も起らず極めて靜肅に經過し天氣は快晴なりき

◎巴峽博參加 問題巴峽博覽會々社が若し日本に特別勸誘員を派遣するならば有力なる實業家も之が助力に當るべきも若し派遣なきに於ては出品は全然廢止さるべき形勢にあり米國政府之ゐ就て日本政府に援助を請はゝ政府は勸說に當るべきも然らざるに於ては日本政府も何等の容喙を爲さゝるべし

◎岡崎代議士報告 代議士岡崎久次郎氏は加州事情詳細の報告を日米同志會に齎したり

◎日本政府抗議 日本政府は更に抗議を爲すべきも内容は秘密なり然れど要點は不動産に就ての銀行事業に關するものと稱せらる

支那電報 (廿九日午後三時着)

◎安徽都督更迭 袁大總統は倪嗣冲を起して安徽都督に任じ前都督孫多林を罷免せしが因は孫が袁に快からざる態度あるが爲めと傳へらる

◎上海靜穩 前江蘇都督程德全は目下上海設立行署に在りて江蘇各府縣ゐ電知して獨立を宣布するの止むなきを傳へたるが上海民は就れも激烈の氣勢を示さず稍々靜穩の狀態に在り

◎南京落城 北軍の將徐寶珍は已に鎭口に南軍と戰ひて之を破り爲めに亂黨は南京に孤立死守したるも遂に官軍の手に占領されたり

◎南軍利 あらず 拱衛軍總司令官段芝貴及李純の率ゆる軍隊は湖口を破つて兵を駐め秩序を恢復し後軍を江南に進めて兵を合せんとす

◎湖南紛亂 湖南各界の人士は長沙の獨立宣布に反對し西路各軍隊も亦獨立に贊せず渦亂中に在り

◎自由黨首領病む 加奈陀自由黨の首領サー、ウイルフレッド、ローリエー氏は頃來胃弱を病んで臥床中にあれど素より重態には非ず今週中には充分恢復してモントリヲル行決行を得るに至るべしとヲタワ來報は記せり

◎レニヤ山の地震 昨朝八時過ぎ華盛頓州レニヤ山及びピアス郡のラグランド、アッシフヲードエルペ、ヲーテング、イートングイル等各都市ゐかけて二回の地震あり南方はルイス郡ルイスにまでも及ぼしたる程にて區域は約五百平方哩に渉りアッシフヲードに於ては却々の激震なりしもヲーテングにては左程ならず併も華盛頓大學の地震計には何等感應もなかりし由なり

◎戰艦士官歡待 晩香坡の各共濟組合員は昨夜新西蘭號士官ゐ對して歡迎の催しあり組合中最も古株なるマウント、ハーモン、ロッヂ第七主として幹旋し他のメースン之に參加したるがメーソニック、テンプルに於ける會衆八百餘名、宴はウイリアム、バーンス氏司會し乾盃辭は國王、ピーシー州グランド、ロッヂ、及び客賓等に對せるゐゐて檢事總長バウザー氏も出席簡單の演說を爲し艦長の答辭あり州首相よりの祝辭朗讀もあり盛況を呈したり

◎巴奈馬博と濠洲館 濠洲政府は巴奈馬太平洋博覽會に濠洲館建設の爲金十万弗を支出すべき旨を發表したりと昨日のメルボーン來報は傳へたり

◎シーエヌ鐵道社債 昨日倫敦にてタイムス紙が發表せる所によれば四分五厘の利率にて四百万弗のシーエヌ鐵道社債は廣告期限よりも非常に速かに悉皆の應募を見たりとのことなり

◎密航者は送還 東鄕丸船長吉田龜次郎なる者が二十有餘名の密航者をつれ來り其内十一名を去る十八日ペラペラに上陸密航を企て遂に其内八名は官憲の手に捕縛され當市に護送されて移民官の取調を受けたる密航者事件は忽ち白人社會を驚かし諸說紛々として惹起せるがオタワ政府より送還すべしとの訓電ありたる結果密航者八名は本日當港出帆のエムプレス、オブ、ジャパン號にて送還されたり然して東鄕丸の消息杳として未だに知るを得ずと云ふ

◎邦人溺死說は無根 昨日新西院より此程の暴風に邦人漁者十名程溺死の形跡ありとの報あり直ちに紹介し置きたるが今朝鑛詰業者組合の報告によれば右は何等の根據なく實際何れのキャナリーにてもボート一隻、漁者一名も行衛不明の者なく唯一の不幸事は前出氏の椿事のみなりと謂へり

◎收穫手四万人必要 昨日ウイニペッグに於てマニトバ州政府及び大陸横斷の三鐵道代表者會商の結果平原州の收穫時期に際し東部より四万人の收穫手を招致することの必要なりとの決定を見たり四万人は除し多數ならざるが如きも事實に於て既に平原諸州のみにて過去の年度よりも以上の數を得ることゝ成りたるが爲にして又西部諸都市より集まり來る者の數も七千乃至八千人を得る見込充分なりと

◎漁況一束 今朝の報告次の如し ▲ベリンガハム 昨日トラップに依て十五万尾▲アナコーツ 曳網の分六千尾を含んで各方面より四万五千尾(以上來國側)▲フレーサ河 カヌー、バス平均六十尾、上流同三十尾、メイン、リヴアー同四十尾▲リヴアース、インレット稍良況なるもスキーナ河、ナアス河附近皆不振、場所に依てはキャナリー閉鎖の向もあり

因みに最近ワダムスよりの本社着特報によれば同方面先週は引續き好天氣、漁況良好にてハイボート九百尾、ロー四百位、初週より通じてハイ千八百、此分にては次週も相當の漁況なるべしとありたり

◎ジャトル丸の入港期 大阪商船ジャトル丸は去二十二日横濱を出帆せる旨電報ありたりと云へは一日早くヴイクトリアゐ入港すべし船客一等五人、三等は美府上陸三十七人内支那人十人あり、タコマ上陸六十人にして貨物はヴイクトリア揚荷二百噸、タコマ揚百噸、シャトル揚二百噸にして尚は東部行二千噸生糸百三十梱ありと

◎溺死せるには非ず ステプストンのフ井ニックス鑛詰所に就働せる高垣ハウスの日本人漁夫溺死せるやに傳へられたれどシケの爲め歸宅の遲れたるのみにて溺死せるにはあらずと云ふ

◎同胞の歸國者 昨日午后ヴイクトリア出帆の郵船阿波丸ゐて當地方より歸國せる日本人は左の如し

▲二等客 山下藤太郎、同妻、ケー山田▲三等客 建部米次郎 幹野善三郎、淺妻彌平、吉澤精一郎

尚は本日出帆のエムプレス、オブジャパン號にての歸國者は左の四名なりと

赤田榮吉、勢見惣吉、同コノ、柴田爲哉、今堀喜一

◎京野指導送別小宴 昨夕七時より京野指導の送別小宴を菊之家にて催し九時半頃散會したり因みゐ同氏は本年十二月頃迄沙都に止まりそれよりヲンタリヲ州ゐ赴く可しと云ふ

◎個人往來 胎中楠右衛門氏は加州及墨西哥視察の爲め今十一時發便船にてシャトルに赴く由▲高橋清輔氏は一昨夜の便船にて沙港ゐ赴く▲金澤牧師は昨朝歸晩

今回支店長山下龍太郎夫妻岡波丸便にて歸朝致候に付ては紹構なる御餞別を辱うし且御多忙中態々御送被下御芳志の段奉深謝候就ては一々參堂御暇乞可仕の處混雜の爲め乍遺憾餞禮仕候段不悪御海容被下度候

東合資會社酒店

此度支店長歸國ゐ付き從來食料品店と御取引の各位に對し切の整理當酒店にて可致候且つ此後金錢上の取引ゐ關しては當會社名亦は島田信一の名義と御承知被下度候

懸賞死体捜索 二十八日午前二時ノース、アームとスタヴストン中間沖合にて紀州三尾村人前出彌吉儀溺死致候、就ては死体發見御照會被下候御方に對し金百弗の禮金相呈すべく候 スタヴストン 前出由兵衛 友人 宮下巖

外科 婦人科室を新設 晩市バウエル街三五八戎屋内 醫士 木下德太郎 電話 シーモア八六八八

内科 小兒科 アレキサンダー街三二〇 長崎醫學專門學校、醫學士 守儀一郎 電話 シーモア七六七二

第二回 母國觀光團募集 廣告は第六面にあり

河邊齒科醫院 ドクトル 河邊精一 診察時間 毎午前九時 晩市バウエル街三二六エルトンホテル二、三號室 (電話シーモア八一三〇)

加奈陀在留同胞訪問團募集 ▲出發十月二十一日▲歸晩二月廿八日▲費用百四十五弗▲觀光期間二週間▲申込期十月十五日迄▲待遇總て中等▲徵兵猶豫願は故障なく歸晩し得▲規定書申越次第送呈▲幾多特典あり 晩市バウエル街三四一 水原伊藤事務所内 加奈陀同胞母國訪問團本部 341 Powell St Vancouver

◎晩香坡本日小賣相場(野菜菓物)

胡瓜	一ポンド
ポテト	一四
キャロット	二 同
ニップ	二 同
オニオン	二 同
トメト	四 同
グリンピース	二〇 同
西瓜	一ツ
ピーチ	二五 打
レモン	三〇 同
バナナ	二五 同
オレンジ	三〇—四五 同
エプリコツ	一〇 同
チエリー	二〇 同
ストロベリー	一〇—一五 同
ベーブ	一五 同

大陸片々

▼加奈陀貿易昨年間期に比して本年既ゐ其額好況を示せり歡迎すべき近音と稱して不可なき也矣

▼猖獗 牙に革命的大活動發生の形勢あり▼スポンヒヲボルトとに大運動の樣開かるゝと多事なる戰

▼孫逸仙等南方の領袖達次新運動什うやら蹉跎實與五万元を鄧逸して日本に逃れんと飛電は聞ふ

▼上海に匪徒騷擾して租界城内に銃彈飛ぶ日人の南方に援勢する者ありとの風說亦頻々傳へ來る

▼五國借款より起說して孫文黨會通信社に飛檄し正義と人道の爲ゐ起つを宣す南北尚ほ紛爭せん

▼在晩數年支那新聞の爲に勸めし早稻田出身の馬自由袁世凱の爲お拘禁の境地に陷れらる珍聞也

▼巴峽運河開通と共に米の全艦隊太平洋岸に聚まらんと海相聲明す米國一流の示威大々的ならん

▼新政黨奉來貸金政畧に依り代議士の入黨豫約を結ぶ陣笠が一千圓中陣笠が五千圓とは安ッぽし

▼捕縛されし支那婦人贈殺團長張玉成の家宅より大總統僞印一組拳銃五百挺其他を發見とは驚

▼奇行を以て有名の主獵官織田信親子拜命以來十餘年武運拙くして毎年御獵の狙一匹も射止めず

▼雖然本年織田子不思議にも古猪を射止めて天晴の手柄を顯はし同時に勅任官陞進とは芽出度し

▼上京の警察部長等内務の食堂に闖獵保局長には一瞥もくれず服裝貧素の爲氣が不附りしは奇異

大陸片々

▲ルイヴアナ州レーキ、チャーレ、市の衛馬車の御者でハーシエッド、アスと云ふ十七歳の男は去年十一月ウエルス、フアーゴ運送會社から現金三万二千弗を盜んでことゐ自殺した、彼は其金を伯父に分配し伯父が身分不相應に近頃贅沢なやり出したが爲に遂に足が附いたのである▲カネヒチカツト州ニウイントン市では全市擧つて内債段が下落するまでは之を食べまいと申合せ愈々之が決行に着手した▲ルヴヴアニア州ルイストンの牧師ジンドルウ、スパンガルは九十歳の老齢の今日自動車の操縱を稽古して毎日自から之を運轉して居る

■大陸風聞■

遙かに跪拜す

曠古の大英主に在します　先帝陛下御登遐ばされて、靈柩の悲しき涙の裡に、靈柩精來、はや一年を經て、茲に、御一年祭に際せり、謹んで按ずるに、伏見桃山御陵及び宮中櫻殿に於て、莊嚴なる祭典の擧式あらせられ、式典後、御靈位は宮中賢所、皇靈殿神殿に移しまゐらす。

胸に溢るゝ新たなる憂愁や、斷たなる悲痛や、紙を展べて、唯だ涙の頰を傳ふて流るゝ、赤子の哀感は、在天の御靈、照鑑を給へ。伏見桃山に國の礎は永劫に堅く、絶倫の曠業と絶大の御遺訓とは、史上嚴乎として千古に輝く。

在天の御靈、宗社と億兆の上に在ますば、邪家を蹴らせ給へと、只管に虔み祈り奉る。

東京だより　七月五日

增師不提案言明

在京特派通信員　山本　礁波

原内相は曩頃の政友會招待會に於て、大正三年度豫算に增師計劃を計上せざることを言明し、松田法相も當日之れに裏書したりとて政友會の一部にては鬼の首にても取りたるが如く悲悅し居れり、我れ等の見る所を以てすれば、假りに大正三年度豫算に增師計劃の計上せられざること、原、松田兩老の言ふが如くなりとも、夫は政友會の力と功とに屬せず、是れ實に輿論の力なり、國民の成功のみ殊に彼れ等は知らず原、松田兩老の言明が果して增師を中止したるの間にあらざるやも知れざるとを。

本文の記者の確聞せる處に依れば當國の海軍計劃は往々豫算の上に未現の中に着手せられたること多く、昨年增師問題の喧ましくなるや原内相は豫算面に現はさずして何とか遣り繰り實行すべきの相談を陸軍に試みたる事ありと云ふ、之れよりして今回の言明を觀れば實に思ひ半に過ぐるものなくんばあらず、我れ等は陸軍側が決して增師を斷念せざるべきを信じ、桐瀬陸相が如何に英斷果敢の切ありとも、其力を以て陸軍閥を壓服せんことは到底不可能なるべきを信ずるが故ふ、增師計劃は假令大正三年度豫算に計上せられずとも、實際に於ては計劃着手せらるべきものなるべきを信ぜざる能はず、即ち原松田兩老の言明は先づ自らの良心を欺き併せて他をも僞はらざらんとするものなるを信ぜざる可らず、而して果して然る場合には如何なるべき乎と言ふも、我れ等は豫算に計上せざる支出を爲すが如き大々的違憲をば、苟くも政黨員より出でたる大臣の多き現内閣が行ふの非道を悲しまざる可らず、而して之れを悲しむと共に政黨内閣の確立を以て任すべき松田氏の老し惑し亂し了るを憫れまざる可らず、如何となれば彼れ等の可なる主義主張も只だ政友會なる烏合の一團を纏めて增師反對の空看板たりしか、將た政友會員たるもの只だ單に豫算に計上せずとの言明のみに安んじて、少しく政府當局者の肺肝裏まで洞察し、苟くも徒らに一時を朝三暮四の轉變動化するものなれば、又た彼れ等の主義主張は朝三暮四の轉變動化するものなれば、又た彼れ等の主義主張を思はんが爲めの空看板たりしか、將た政友會員たるもの只だ單に豫算に計上せずとの言明のみに安んじて、少しく政府當局者の肺肝裏まで洞察し、苟くも徒らに一時を

義士傳

（八十二）

伊藤痴遊講演

【討入の卷】

忠左衛門に問じく黙き影を認めて脈け附けて來たのは不破數右衛門でございましたが

『吉田氏、只今の……』

『人影でたぢやるか……如何にも認め申した』

『拙者は怪しき敵と睨んで脈け附け怒つたに行方を失ひしは殘念至極……』

『たう御最もコツ〳〵身を隱す乘勝から推察すれば其許のた目鑑も我等と途はぬ、此の場合に三人四人悲を同じふして逃迷ふは仔細がたぢやらう』

『屋間は脱出してたぢやるが門外へは出るゐ道なき邸内、事に寄つたら上野介を家來ともが守護して逃迷ふのではたぢやるまいか…』

『まだは左兵衛かも知れ申さぬ…拙者は樣側傳ひに探れば其許は庭を今一應れ探し下されい』

『畏まつてたぢやる』

と數右衛門は直ぐ庭へ飛び下りまして植込燈籠の陰に至るまで漁りつゝ左兵衛の居間の庭へと飛び込む、幾度か人々の通ひし足跡を雪につけ築山の影植込の片隅までも雪を蹂躙きました形跡が有々と見ねて居ります不圖右手の方を眺めると雪除をしました赤松六七本、軒を掠めて品よく枝を張る下ふ黑く蠢くものがございますから、數右衛門は更に油斷せず扨ては怪し婦人小供の逃迷ふて蹲踞るかも覺わず要こそあらめと勢ひ猛に進み寄れば果せるかな四五人の敵勃然と起きあがり脈け來る數右衛門を支へんとする眞先の一人

『この場は我等引受けたり、各々方はた構ひなく……』

と言ひながら斬つて掛る暴動の仔細あり氣に見ゐる、殘る者は刃向ふ一人に加勢をせんとする樣子もなく皆首肯きつゝ此の場を逝れんといたしますから數右衛門は立向ふこの當面の敵を一刀に斬て捨て逃去らんとする四五人を遂ひ駆たんと精神こめてエイヤとばかり腦天より唐竹割にして呉れうと發止と打込みまするを敵も中々の白徒、心得たゝとヒラリ身を開きさま横撲りに拂つて來るを數右衛門は飛び退きましたが鋒鋩は猶ほ羽織の裾五六寸ザク〳〵截り裂き此方より打ち込せる隙なく激しく斬りまくる手練天晴吉良家の剛の者と見て取りました敵右衛門も斯かる勇士の守護に立つ一群こそ必ず上野介にあらねば左兵衛である、あれ取り逃しては氣は逸りますが組合敵は右に支へ左に遮りて少しも隙を與へませんのみならず我れ此處ふあり汝等に一歩たりとも進ませんやの振舞いよ〳〵心憎きまでの働きゐ性質豪放にして負ず魂の數右衛門グット癪に障つて已れやれ汝に支へ立されて蕊の中の鼠を逸し去らすべき忠義ゐ癡たる我が白刃の錆と消ゑ失よと、阿修羅王の暴出したる如く憤激してエイと打ち下せばエイと答へてガッチリ受け留め双方必死の奮闘惡戰に敵は敵ゲ所の傷を被り鮮血淋漓として流れ手足も朱に染めながら更に突む暴動もなく。

廣告

内務省許可　産婆免

山本くめ

電話シーモア　晩市バウエル街三一六

ボーリング　アレー

バウエル街　藤本

晩香坡市メーン街二九二

大河原商店

話電シモアー三八一一　郵函一七六四

廣告

南京料理　並みそば

東ベンダー街二九　電話「四〇四二」

杏花樓

▲スタイルのよい
▲切地を吟味せる
▲仕立の丁寧なる
……洋服店は……
バラード街
田中屋洋服店

南京料理　うどん　そば
御手輕　御料理
バウエル街三三三
山科亭
（電話二七七九）

日進合資會社
晩香坡市バウエル街二三〇
電話シーモア二三〇
郵函一一〇

土地賣買、登記手續、金錢貸借、商品仲買、公證手續、委托販賣、通關、代辯、
商取引仲立業
臼井事務所
晩市バウエル街二一六七
電話ハイランド四五七アール

▲金銀細工▼　婦人用飾品
時計修繕
貴金屬寶石類
晩香坡市メイン街二〇二
松林時計店
電話シーモア六五二二

◎玉塲
シガースタンド
バウエル街一七二
颯田玉塲

●理髮所
氏原定次郎

衣類　雜物　靴類
日英商會
電話一六〇
バウエル街二一八

米國移民官通辯
英語夜學校
日本人メンヂスト教會夜學校內
自午後八時至九時半　月、火、木、金
バウエル街二三五松本旅館二號室
米國文學士　駿田一二三
電話シーモア八七三七
自宅電話ハイ一二六四エル

和洋雜貨食料品
金物類一切　陶器類一切
バウエル街五六六番地
神戸屋商會
横田權二郎
日夏嘉兵衛
電話ハイ三三七　郵函一〇二三

御手輕料理
並うめし
バウエル街二六六
やまとめしや
電話シーモア三〇五八エル

和洋雜貨食料品一切
右精々勉强販賣可仕候間多少に拘らず御買求め下され度候
晩市西第二街一六四二
電話ベビュー二一二一
小西佐一

後悔先に起たず
當地方に投資せんが爲め其事情を知らんと欲する諸氏は先づ土着者たる小生まで一應御問合せあれ萬事の調査、媒介、周旋等の御依頼にも應すべく候
但し普通問合せに對しては郵税及び筆紙代として切手にて四仙申受くべく候
南フォトジョージ
OK美術雜貨店
武田長次郎
The O. K. Bazaar
South FortGeorge, B.C.

◎特別製スタンピング火藥
▲キャップス
▲フューズ
右特別の注意を拂ひ北晩香坡、バーナビー、南晩香坡、コクイトラム、ポイントグレー等に配達可仕候
コンツラクター
火藥用達會社
本店晩市リチャード街三一〇
電話シーモア四一〇五
支店クリスデールステーション
電話イーブン四六アール
The Contractors' Powder Supply Company

開業
弊樓修繕の爲め永らく休業致し居り候處漸く萬端の設備完成致し候に付再び開業仕り候間舊に倍し御光來あらん事を希上候
ベンダー街とカロル街角
北京樓
電話シー四三六七

馬の疾病治療に應ず
東カドバ街紀の國屋隣ステーブル
ゼーダブルユーブラント

菓子製造
卸、小賣
バウエル街二二九、イー
電話シーモア六九四一
溝邊菓子店

理髮店
取扱▶嗜▶
貸ムール
▶室内清潔▶
晩香坡バウエル街三〇九
電話シ一三七八
中川床

漁船、ガスリン船
其他一切の小舟製造
スチブストン郵函二〇電話七
中出村田造船所
Nakade & Murata
Boat Builder
P. O. Box 20 Steveston, B. C.

シーピー鐵道働き
大募集
▲ギャング
▲セクション
▲ショップ
▲ポーター
▲仕事はらくです
▲年中仕事があります
▲ペーはたしかです
▲かねが殘ります
日加用達株式會社
晩市バウエル街三三八番　電話シーモア八三九

◎中國上米卸小賣
◎貨搗き仕候
◎味噌醤油卸賣
日本米御買求めの節は「ユス」印に御注目被下度御一報次第迅速に御用け可申上候
アレキサンダー街四七四
酒井精米所
特主　酒井鶴之助

御用の節はハイランド四五二

宿屋
室内清潔
和洋雜貨食料品
晩香坡市東カドバ街一五一
紀の國屋
（電話六八三）

○球塲
アレキサンダー街二四〇
大村千代吉
中野治三郎

土地買賣、諸工事請負、領事館諸届代書一切
特に市の内外を不問男女各種勞働口を丁寧ゐ且つ確實に御周旋仕るべく候
晩市ゴーア街一二八
東洋桂庵
奥村事務所
電話シーモア八五五六
特に代書事務一切は山崎庫助氏に委任

英領加奈陀グキクトリア市ドグラス街一一七
日本米
雜貨
永野萬藏
ガバーメント街一五〇二
パンドラ街角電話一六二一八
日本美術雜貨
永野商會
ガバーメント街コムランド角街六〇七
食料品販賣
永野商店
大阪商船株式會社
汽船切符取次販賣
（郵函五九二）

和洋食料品雜貨
ニューウエストミンスター市
三國商會
電話三三八七八
郵函

玉突塲
並にシガースタンド
豆腐製造
新西院市コロムビア街六六五
沖永由松
電話六二七
郵函四三一

旅館開業
室内清潔　食品美味
風呂の設備あり
各種勞働口周旋
新西院市へ御出の方は御投宿被下度候
新西院市ペクビー街四七
ラッセルホテル東隣
鷹野慶基

御旅館
ビクトリア市チャタム街六三六
石田元藏
電話一一四一　郵函一〇六九
636ChathamSt. Victoria, B.C.

なんでもある店
最廉價販賣
新西院市コロムビア街
成記　シンキー

高等御旅館相模屋
内外 濠車 濠船切符取扱
各種勞働口周旋
晩市アレキサンダー街三三
館主 青木米吉
電話三五五 郵函三三

蓄音器
レコード販賣
晩市バウエル街三三〇
日本レコード商會
代理部主任 加藤萬三郎

今回元朝頃を引受一日より精々大勉強を以て
新月 と改名致し六月
めし、うどん、
そば 其の外種々御好みに應じ御間道仕候倍蕎の御引立あらん事を伏して願ひ上げ候敬白
バウエル街三二八
新月
電話シーモア二三四六

御手輕料理
並
めし・すし
賀松本旅館跡
○福
(電話五三九七)

日出旅館
濠車、濠船、切符取扱
土地賣買 勞働口周旋
プリンス
ルパート
第三アベニュー一六七
(郵函一六)
HK YAMANAKA
167 3RD Ave E
Prince Rupert, B.C.

理髮床
西洋風呂
清潔丁寧は
弊床の特色
バウエル街三六〇
熱海床

男女洋服洗濯
船物及毛織物 切洗濯
メイン街六〇七
アベニュー
洋服洗濯所
電話シーモア三五三

氷
しるこ
あづき
治
宇
外品々
いなりもし
きらく
バウエル街四二一(舊林家事)
電話 ハイランド一〇一八

和洋雜貨食料品
日本綿及び眞綿
磁器類いろく
江州澤庵
蒲鉾製造販賣
前川商會
電話三七二郵函一〇四五

内外
食料品
バウエル街二四
下村商會
電話シーモア三三九三

▲御手輕料理
▲めし 並に
バウエル街二五一
柳川めしや
電話シイ三一二三

和洋雜貨食料品
並に精米業
夠々勉強仕候何卒御用命被下度候
晩市西第六街七五八
善作商店
電話フェアモント一四六六

故郷よりの手紙小店に留置心當りの御方は御一報あれ轉送します
福岡縣 柴田勝助
中嶋久治 岡山縣
縣名不明 大月嘉市
原田三郎 イミヤ
岡崎清助
晩市バウエル街二一七一
梶木彌太郎店

○日本骨董品雜貨
○時仲代街一切取扱
○表具裏法傳授
晩市ロブソン街一〇一七
淺野錦社堂

○婦人子供 衣服
○同附屬品
○ボンネット
○きれ地各種
其他日本御婦人向きの品種々取揃へ有之候間御一覽の上多少に拘らず御買上げの程願上度候
舊ドイラスデール跡
ダアビッド
スペンサー
David Spencer & Co.
Hastings St., W. City

御婦人方は御覽なさい
當店では目下カーペット、カーテン其他家具、御婦人用品なんでも大安賣を致して居ります
十弗のカーペット……六弗七十五仙
一弗五十仙のカーテン……九十五仙
羅毛の大ケット二弗七十五仙
三弗、四弗五十仙、五弗等
婦人洋服、コート類、帽子、コーセット、靴下何れも特別の大安賣
西ヘスティングス街二九、三一、三三、三五
スターク商會
Jarms Stark & Sons Ltd

水パイプ流し取付け
又は設計等すべてわりの仕事は早くて極安く致しますから何卒御用仰付けられ度候
東ヘスティング街二三九
ブラウン
電話シーモア七七〇
W. A. BROWN
239 Hastings St. City

晩市バウエル街三七九
雜貨部 江畑商店
同西第六街一六一
食料品部 江畑商店
電話シーモア三八九五
フェアモント二〇七三

石碑、圍ひ石等の據附
至極廉價に應じ候用材は當州產又は輸入石何れにても御好みに任せ候
晩市ウエストミンスター第十六街の角
パターソン、エンド
チャンドラー
(電話四六六三)
Patterson & Chandler

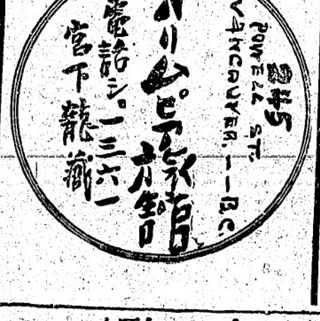
御てごる料理
並に
めし
バウエル街とゴーア街角
ぷく亭
若原

The Yokohama Specie Bank Ltd.
P. O. Box 2634
415-429 Sansome St. San Francisco, Cal.

◎本店預金
◎本邦送金
◎支店預金
横濱正金銀行
桑港支店

▲西洋風呂
▲理髮場
メイン街二三一
速水米太郎

ペンター塗
キャシマエン
ステーン
其他家屋裝飾請負
經驗は充分あり、仕事は親切丁寧にして廉價を主とす
晩市カドバ街三三一
電話シーモア五三八四
松本兼吉



▲和洋菓子製造
卸小賣
●慶事、祝餅、佛事
並にセンベー掛物類
其他何品に拘らず御注文奉希上候
晩香坡市バッエル街三九一
加奈太新聞社裏隣
金玉堂
電話シーモア八六七
垣見伴治
青木伊三郎

御飯ろば並に餅賃搗
祝もち
バウエル街四五一
江州屋
電話ハイランド一五〇九

御手輕料理
メイン街一八四
はしぜん
電話シモア四三三九

品質佳良
特別安價
メイン街一一八
新井洋服店

鮭網、ヘレン網、曳網、テント、帆木綿、漁具一切及び上等の革製又はラバーブーツ格安に賣捌申候
ワター街六八 電話二四二
イーリップセット

和洋食料品
晩市バウエル街三六四
清水商店
電話シイモア三五六六

手輕御料理
晩市バウエル街四五一
あづま
電話 ハイランド一三三二

大工業
如何なる大工仕事にても請負仕り叮嚀迅速を旨とし御用に相應ずべく候間何卒御用命の程偏に願上候
晩市バウエル街三五七
重井、杉本、上野
電話シーモア三九五七

●壽し
●天ぷら
●御手輕料理
晩香坡バウエル街二三五
五色湯向側
旭家
電話一九三一

●御めし
●うどん
●そば
午前七時より割賦の御用に應申候
バウエル街二六四
電話四三九八
○万

▲和洋食料品一切
▲陶器類
スキーナ河ボートエシングトン
岸本商店
郵函三二

地所家屋賣買
金員貸借周旋
登記公証手續
保險業代理
商業受託
稅關手續
晩香坡市バウエル街三四一
水原伊藤
事務所
電話シーモア二三七八

葬儀一切取扱
晩香坡市メイン街二六〇
エドワード
葬儀社
Edwards.

●洗濯業
バウエル街二〇六
大倉洗濯所
電話シーモア六五二二
事務所
工場ランスダウン街一六〇

▲免し丼
▲御手輕料理に
坡市バウエル街三六五
成梅軒
元月の家
電話五三八四

ボート新造丼修繕
ボート引揚げ
尙引揚げは潮時を選ばず迅速に可仕候
ポイントアトキンソン
小早川造船所
Point Atkinson, B. C.

旭屋旅館
當館は萬事親切を旨とし各種勞働口の周旋濠船濠車切符の取次可仕候
電話シーモア一三九六
バウエル街二七〇
谷口熊太郎

葬式一切取扱
ペンダー街三〇五
ローンエン
グリークレー
ドゥ GREENE & MRKLEY
305 Pender St City Phone 340
葬儀社

●金員貸與
●代辯事務
●對白人交渉事件
●歸化証下附請願
例へば鐵道若くはソーミル
●就働中負傷
したる場合其の原因に依り賠償金を請求するを得其の他此の種の對白人交渉の
數千弗までの
依
賴み應ず
電話三八八六
永尾事務所
萬歲館第一號室
パウエル街二四二

日本製 漁網 漁具
大阪商船乘船切符賣捌所
晩香坡市東カドバ街一五
直輸出入
商是永壽吉
電話シ二八四(自宅ク三三)(郵函一〇一五)

●迅速叮嚀本店特色●
晩香坡市メイン街二二五
田鍋洋服店
電話シーモア三〇二四

雜貨商
バウエル街三三三
永松商會
電話シ三二六四

Code Western Union
Cabes Kinyu Sha.
PHONE. 2721 270 Powell
NIPPON KINYU SHA
銀行事務
本社事務所は日本郵便支局事務所と極近し居れば日本送金等に最も便利なり
當座預金
貸附、手形引替
利子附貯金預金
定期預金
日本金融株式會社
頭取 エー、マキボーイ
重役 是永壽吉
主任 エ、ブイ、ガーデナー

GONG NAM CAFE
料理は市内一等の美味
多人數宴會は特別勉强
東ヘスティング街一二八
バンクーバー座近く
南京御料理並にそば
蕎麥は充分に材料精選
日本人諸君は常に歡迎
江南樓

林專買
通辯代書
バウエル街四五七大屋商店内
中村辰吉
郵函二七五

齒科
アッゴ大學
齒科醫學博士
谷内兼松
バウエル街二五二、六號室
電話シーモア六八二

バウエル街三九一
加奈太新銀行二階十九番室
醫
石原明之助
電話シーモア一三二
自宅ハイ八七六

共立齒科口腔外科病院
院長ドクトル
清原石雄
晩香坡市バウエル街二四五
電話シーモア一三六二

内務省免許産婆
助產の御依頼は廊じ申候
バウエル街二三（二階二號室）
大澤もとゑ
電話シーモア七二〇五エル

晩市バウエル街二三一
電話五二四、地所
賣買
佐伯事務所
SAIKI & Co.
P.O. Box 1571 Vancouver, B.C.

内外科
醫師
野尻睦男
バウエル街三二四、三九七號室
電話シーモア二六〇九

大正堂藥舗
晩香坡市バウエル街三四一
電話シーモア三三七八
フレザー廣店日本人部主任
公認米國藥劑師
水野久三郎

弊店儀來（スチングス街にて營業仕居候處今回左記の場所に移轉仕り室内油源に料理は精選仕り日本人諸君の御來樓を歡迎仕候間何卒御來樓の程希上候
東ベンクーバー街一三一
（オイン街より數軒目）
香港樓
電話シーモア九三六八

鮮魚
並に
青物
バウエル街二五三
A. B. FISH CO.
西村捨彌
元の
有屋吉川
電話シーモア五四四一

ロモックス號火木土前九木前十
火曜午前九時水金午後七時
毎日　午前十時　午后十一時

米國齒科醫學士
中島正二
●電話シーモア九六六●

五色湯
一日　午前十一時　午后六時
二日　午前十一時　午后七時

小説

千人信心（十）

柳瀧逸人

將軍家御膝下なる江戸の港も近頃は便になると何處かで人の二人や三人斬られてゐぬ事は無かつた、町人の身の悲しさは寸鐵も帶びるのを免されないので、何物に斬殺されたのやら皆無様子も分らねば原因も知る事が出來ぬ人々が町家にあつて多かつた、其れが爲めかあらぬか夜は成るべく外出するのを控へたが、問辻斬にあつて刀の新味試めしに遇ふばかりか、貯へ財布迄のやうな何處へか消わる事は珍らしくなかつた、勿論町人のみに限らず、武士と武士との斬り合ひも屢々演ぜられて、血腥き風吹く若る日も隨分多かつた、幕府の奉行所でも成るべく斯かる不埒な武士を捕縛しやうとはせぬではなかつたが力の及ばぬ傾きがあつた、それに加へて勤王論が天下に沸騰して志士を抽ふるに紲れ日も足らぬ有様であつたから、從つてトモすれば斬取強盜を習ひとする邪侍ひの探偵は忽がせであつた。下谷廣小路の邊り真昼間手先同心と志士などの渡り合ひなども少くなかつた、幕府は勿論敵對を爲す者は斬り捨つるも苦るしからずとの令を發したから、興力の氣短かき者共は渡り合つて斬り殺る、事もまた敵を斬り殺すことも少くはなかつた、町家は一日も安き心を以て日を送る者とてはなく何時不時の出來事で、荒くれ武士の刀の錆に消り失せやうかも知らぬ身は、面白き事樂しき事、生きてある世に遊へ一度でも多く遊ばうといふ了見を持つた者も獨り若い者ばかりに限らず、分別盛りの四十五十の人々の中にも其麼果敢ない樂しみを寄る辺中も少くはなかつた、されば白粒の香色濃き吉原さては品川新宿の同宿の外には岡場所といふ岡場所、或は伊達を脱つた數寄屋河岸、横町、深川あたりの遊者の集をなす狹斜の巷の邊りは、斯かる町人を見越して刀に反りを打たせて金を無心する惡侍ひも多かつたから、町家の者は武士の姿を見れば何者かの怪に襲はれたかのやうに心恐れを懷かぬものとてはなかつた。

湯十郎は我れながら不思議の心に魅せられて、小糸を儘にならぬのは村上菊之進あるが爲めと斯う思つて、何時かは亡き者にしやうと心掛けてゐたが、一度引舟源次の兒分を語らつて却つて愛き目に遇つてからといふもの、源次の賭場へも氣を兼ねて行かれなくなつたのを、知らぬ小さな賭場を目付けては好きな博奕に武士の魂を日に日に腐らかすのを顧みる事もしなかつた、それも資のない時は是非なく暗に紛れて町人を目蒐けては辻斬物盜りをするやうになつたのが初めで今では結句それが屢々行つては日を暮してゐたが、小糸と菊之進の姿は常に憎さ可愛さの思ひに鎖ぢられぬ事はなかつた。

◎加州の同胞（壹）

▲羅府附近の同胞

羅府を中心として周圍殆んど六十哩間に沙つて一万五千の農業家があつて明治三十四年頃から始めて耕作に從事し今までは一万英加の耕作者のあることは前述の如くであるが今日羅府を距る八、九、哩間にあるガーデナ、モネタ、ラグナ、ニューマーク方面の邦人農業者の狀態を述べて見やう、

同地方の平野は殆ど四千英加あつて、亜なる部分は砂地又は通稱ドベと稱する所にて苺耕作地は重にドベで地質は黑土、雨の時はドロ〳〵になり干燥すると地面にヒビが這入つて石の樣に堅くなる、之れに白人は漸く〴〵位を作るに過ぎなかつた荒蕪地であつたもので邦人が畦を作り井戸を掘り水を吸上て給水し苺畑となしたのである其苺は甘き濕氣ある良質で市場にても當に驚價を保つて居る、苺耕作者は熊本縣人で重に布哇轉航者、野菜耕作者は廣島縣人が多い、和歌山縣人も可成に居る。

●メビイ博士の見た農村

△懷しい下駄と鐵瓶

▲廣重の畫　廣重の手に成つた農村の雪景色は見るからに熱閙の巷を遠ざかつた寒村の靜けさを想起させる小さい家の上ふ嫌と云ふ程積んだ大雪は如何にも家屋の粗造な事を示し又畫中の人物は障子一重に大雪を凌いで屋内に仕事をする靜かな光景を能く寫してゐる

▲東西文明の相違　太理石や花崗岩で築き上げた大厦高樓を見馴れた外人は日本家屋の粗末なのを見て屋内に住む日本人も亦脆弱だと思ふだらうが之れは双方の文明が標準を異にする事に氣が付かぬ結果である

▲簡便な衣服　衣服の色彩には男女とも多少の種類があるが形は何時でも同じである又貧民の衣服は流行乃至季節を追ふて變化する事なく寒さの加はると共ゐ衣服を重ぬる樣ゐ出來て居る勞働者の服裝は沙翁劇に顯はれる同階級の人物が着てゐるものに酷似し紺色の襯衣を着同じ色のヅボンで能く足に密着するものを穿いてゐるが之れは歐米勞働者の衣服に比し輕便又美術的である

▲火鉢は裝飾品　寒い時には火鉢に炭火を燃くが屋内は其爲に温まらぬ實の處暖を保つのは着物の役で火鉢などの知つた所でないだから眞に温かい日本風の家は恐らくあるまいと思ふ

●温浴と氣候　温浴は日本の國民的制度で到る所で簡便に出來る水浴に馴れて温浴を意氣地無い樣に思ふ外人も日本に普及せる此温浴が能く氣候と調和し且醫効ある事を容易に觀破するだらう矢張日本人は西洋人以上に日本に關する智識は深いのだ

▲類の無い寒暖計　日本の國語は西洋人に取り極めて難解であるが日本の寒暖計も亦之れと等しく難解であつて特別の説明を加へねばならぬ日本の寒暖計が極寒に等しい寒さの事がある即ち日本の氣候を寒暖計で計れば他國よりも温かいが着物の着心地で計れば寒いと云ふ俚諺があるがツマリ日本の現狀が東西洋の中間にあると等しく其氣候迄が東西洋何れとも付かぬ性質を有するため寒暖計が外人に解り難いのだ

▲懷かしい音　どんな貧乏な家にも疊敷の部屋一つは必ずある部屋の入口には下駄が並んでゐて家族の外出を待ち室内の火鉢ゐ掛けた鐵瓶の湯は常ゐ煮立つてゐる處が此下駄と鐵瓶とは餘程日本人の頭に深い印象を殘してゐるものと見ゐ洋行歸りの日本人は歸朝の際停車場に於て最初ゐ故國に歸り着いたのを思はしめるのは下駄の音で又幼時を追懷せしめるものは朝早く雨戸を明ける音と下女が朝日を迎へる時に輕く使ふはたきの音とそれに今一つは鐵瓶のたぎる音だと云つてゐる（アウトルック）

一日一句

我家のやうに式部は明けはだけ

源氏物語りを草した紫式部が近江の石山寺ゐ閉ぢ籠もつて、近江八景を目の前に眺めこは座敷中殘らず明けはだけて書物を山のやうに積んで筆を甜ぶつてゐる繪が昔しよく流行つたものだ明治の二十六七年頃まで繪艸紙屋ゐよく吊されてゐつた、此句はそれを詠んだのである

▲自分の頭まの蠅を追ふ事を知らないで大分人の事をたせつかいする人間がある

が這麼奴に限つて口先が甘い（憎まれ口）▲電氣に打たれた奴さん金が無くつたつて驚くに當らない

ちやないか（間抜男）▲可笑しさは女に色眼使つて色男がつてゐる奴ちや（若年寄）▲好き嫌ひな連中が集まつてがや〳〵云つてゐるのは見つともないから廢し玉へ丁度國民學校改革問題のそれのやうだ（開嘲り）

内外科婦人科
醫學士大家武夫
仙臺醫學專門學校
バウエル街二三一　東洋館一二號室
電話シーモア六八二

東洋館
バウエル街二五二
館主　赤澤卯吉
電話シーモア六八二

營業品目
○鑵詰　○海産物
○乾物　○米穀
○雜穀　○文房具
○漬物　○生物
○味噌　○醤油
○菓子　○化粧品
○書籍　○小間物
○雜誌　○大工道具
○荒物　○陶器
○絹布　○綿布
○履物
晩市バウエル街二六九
香村商店
P.O.Box 1072 Phone 2131
Vancouver, B. C.

電氣取付
電線其他電氣用品一切
●電池、スパークプラッグス（ポート用其他）
タングステン
西カドバ街三六五アーケードビルデング九
メイナード電氣用達會社
（電話シーモア四二〇七）

ストーブパイプ
却小費
ズリキ
ギヤソリン工細
タンク製造
並に修繕、鋸の目立
バウエル街四二一（さらく裏）
秋山太郎
電話ハイランド一一〇一八

會席御料理
すし仕出し
晩市バウエル街三三一
○熊
電話シモア三〇一九

◎魚類一切
◎青物類
◎かまぼこ
◎鑵詰物其他
バウエル街二六一
電話五六六一
田中六彌

肖像專門
西ヘスチングス街二〇三
電話シーモア二四八〇
岡村寫眞

●時計販賣
●附屬品
●修繕
バウエル街三〇一
河合時計店
河合潮

新流行靴
勞働用
御婦人
子供用靴
此外御注文に應じ調進可仕尚修繕は迅速且つ最も堅牢に可仕候
バウエル街四二三
三枝靴店

廣告
時計販賣
並に修繕
バウエル街二二六
鈴木時計店

●流行新形靴類各種
並に修繕、新調
弊店儀今回流行新形靴類數種仕入仕候間御高覽願上度尚御好みに依り新調も致すべく修繕ゐ於ては嶄新なる器械を据附け美麗と廉價を旨とし懇く御需用に應じ可申候間何卒御用命仰ぎ度偏に奉懇願候
晩市バウエル街三一八
加藤靴店

土地家屋賣買及ビーシー州傷病保險會社日本人部代理人
小野助四郎
晩市バウエル街三五八
電話コーリングウッド五九エル
支部　美市バンドラ街七五七

英語夜學校（月、火、木、金）
自午后八時至九時半
日本人メリヂスト教會
日本人教師　駿田二三、尾家朋三
白人教師　大野耕太
ヘトレンデル其他數名

寫眞
晩市メーン街二二八
有門寫眞館
スプストン市ステーション隣り

和洋雜貨食料品
晩市ユーコン街二〇〇〇
ランスダウン街角
田中治吉
電話フェヤモント二〇〇

▲球場
バウエル街二二六
グランド玉場
馬場元輔

廣嶋屋旅館
アレキサンダー街二三〇
佐藤茂平
（電話二一六一七）

ガスリン機械
据附並に修繕
スプストン郵函四六（南海亭隣）
楯岡初太郎

めし、鯖すし
とろゝ、どんこ
小便横町
千鳥
（電話二六九九）

貸ルーム
夫婦者に最も適當なルーム
晩香坡市バウエル街二〇五四
電話ハイランド一七一〇
上出寅松

スタンレールーム
バウエル街三五五
田尾六四郎
電話シ五五八四

新鮮ミルク
ライセンス第廿四號
アレキサンダー街四二二
スター牛乳舍
配達國久

電話番號變更
シーモア一二〇二一エル
藤原寫眞館
晩市バウエル街二四五

御禮廣告

福井縣人會

本會風紀委員
仲野丈太郎
儀豫而病氣の
處御勸告に依り去る六月十日美
濃國へ歸郷の御相談に
付て帆メキシコ丸にて晩國致候
深謝は多大の御儀別に預り候段
紙上を以て御礼申上候
大正二年七月廿三日

金武拾弗　金格氏拾弗　沼田龍藏　金拾弗　金五弗　青木嘉七　金四弗　金五弗　金四弗　金拾弗　金拾弗　金拾